

《担当者名》准教授 / 大橋 敦子
講師 / 水野 夏実

【概要】

様々な疾患の病態生理学的背景や臨床経過を理解することは、薬物治療を実践するに当たって極めて重要である。薬物療法学 I では、代謝・内分泌系及び泌尿・生殖器系の疾患について、その病因・病態を理解し、関連する薬物の薬理作用や薬物治療の理論的背景と合理的な医薬品の使用方法を学ぶ。

【学修目標】

日常遭遇する頻度の高い主な代謝・内分泌系及び泌尿・生殖器系の疾患・病態について列挙し、その病因・病態を理解し、薬物治療を行うに当たって必要な理論的根拠を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	糖尿病 - 1 資料を配布する。	糖尿病について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(5)- -1, -1	大橋 敦子
2	糖尿病 - 2 資料を配布する。	糖尿病の合併症について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(5)- -1	大橋 敦子
3	脂質異常症・高尿酸血症 資料を配布する。	脂質異常症について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 高尿酸血症について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(5)- -2	大橋 敦子
4	腎臓 - 1 ・資料を配布する。 ・教科書 1 (該当ページは配布資料に記載する)	腎不全について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 ネフローゼ症候群について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(3)- -2,3	水野 夏実
5	腎臓 - 2 ・資料を配布する。 ・教科書 1 (該当ページは配布資料に記載する)	慢性腎臓病、糸球体腎炎、糖尿病性腎症、薬剤性腎症、腎盂腎炎について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(2)- -5	水野 夏実
6	排尿障害・体液 ・資料を配布する。 ・教科書 1 (該当ページは配布資料に記載する)	排尿障害(過活動膀胱・低活動膀胱、膀胱炎、尿路結石など)について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 電解質異常について、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標	水野 夏実

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		E2-(3)- -4~5, E2-(2)- -4	
7	内分泌疾患 - 1 資料を配布する。	視床下部・下垂体系の内分泌疾患について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(5)- -4, 5, -1	大橋 敦子
8	内分泌疾患 - 2 資料を配布する。	甲状腺の内分泌疾患について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(5)- -2, 3	大橋 敦子
9	内分泌疾患 - 3 資料を配布する。	副腎の内分泌疾患について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(5)- -5	大橋 敦子
10	生殖器疾患 ・資料を配布する。 ・教科書 1・5 (該当ページは配布資料に記載する)	生殖器系疾患 (前立腺肥大、子宮内膜症、子宮筋腫など) について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 妊娠・分娩・避妊について、関連薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 異常妊娠、異常分娩、不妊症について説明できる。 性腺の内分泌疾患について、治療薬の薬理、病態、薬物治療を説明できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 E2-(3)- -6~8, (5)- -1	水野 夏実

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験（100%）で合否の判定を行う。

解答と解説を遠隔授業ポータルサイト（Google drive）で公表する。

【教科書】

病気が見える vol.8 腎・泌尿器 MEDIC MEDIA

病気が見える vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 MEDIC MEDIA

薬が見える vol.2 代謝系の疾患と薬 内分泌系の疾患と薬、産婦人科系の疾患と薬、血液系の疾患と薬、免疫・炎症・アレルギー疾患と薬、眼・耳・皮膚の疾患と薬 MEDIC MEDIA

詳解 薬理学 廣川書店

病気が見える vol.9 婦人科・乳腺外科 MEDIC MEDIA

【参考書】

薬物治療学 南山堂

クイックマスター病理学 サイオ出版

【学修の準備】

本講義は、2年生で開講された病態生理総論の内容を踏まえて開講される。また、臓器別に解説される「薬物療法学 ~」の一部として開講されており、疾患全体を理解する上で他の領域と関連を持つ内容を多く含んでおり、学修範囲が多岐に及ぶため、疑問点を含めて講義内容のしっかりした理解に努めること。

予習としては、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（50分）。

復習は、プリント、講義メモ並びに教科書、参考図書を活用して学修を深めること（50分）。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

E2 薬理・病態・薬物治療

(3) 循環器系・血液系・造血器系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬

【 泌尿器系、生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療】2～8

(5) 代謝系・内分泌系の疾患と薬

【 代謝系疾患の薬、病態、治療】1～3

【 内分泌系疾患の薬、病態、治療】1～5

【 化学構造と薬効】1

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。

3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。